

## 発達障害の基本的理解と啓発の必要性 自閉症教育の確立へ向けて

特別支援教育の推進の上で、近年のデータで発現率が人口の1 - 2%である自閉症スペクトラムを位置づけ、特性に配慮した教育を展開することは重要です。ところが、わが国の特別支援教育においては、明確に自閉症が位置づけられておりません。議連の先生方のお力で、通級指導教室において、「ADHD」、「LD」、「自閉症」を、情緒障害から分ける形で、すでに文部科学省は「自閉症」を通級指導教室（普通学級に在籍する子どもが週に1 - 2回通って特別指導を受けられるクラス）において位置づけました。しかし、例えば特別支援学級においては、今まで、『情緒障害』という枠内で扱われ、自閉症教育という筋道を持ってはきませんでした。

教員の研修資料をご覧いただければわかるように、自閉症は広汎性発達障害など、関連した他の名称で診断されることもあり、自閉症スペクトラムという形で、グループ全体は総称されます。知的障害や他の精神科疾患との合併の割合も高く、他の診断とされていても、自閉症スペクトラムということも多く、情緒障害特別支援学級の少なく見て情緒障害特別支援学級の全体の80%は自閉症スペクトラムだと考えられます。

まず、『情緒障害』という用語ですが、環境面での要因(親の育て方など)によって生じた心理的・行動的な問題となる状態を指します。『情緒障害』という名称は、そもそも心理的な問題で自閉症になるという、40年以上前の、間違った(研究が未熟だった)時代の誤解されたラベルです。そのなかには、自閉症は親の育て方が悪いからなったという、ネガティブな歴史を負っています。学術的に、『情緒障害』に「自閉症」が含まれると考える研究者は現在では世界的に皆無です。自閉症は生まれながらの脳機能の障害であり、そうした根拠は最新の脳画像研究などからも明らかです。こういう当事者・家族を蔑むようなラベルのもとに自閉症者を置いてきたことは大きな問題です。すでに情緒障害学級の80%の人という大多数が該当せず、なおかつ家族を辱め、当人たちが最も忌み嫌う名称を維持することは問題です。早期の是正をお願いします。

具体的には、『情緒障害特別支援学級』を、『自閉症・情緒障害特別支援学級』という形で名称を変更し、実態に即した名称にし、自閉症が多く学校で学んでいることを明確にすることを要望します。名称変更には予算措置は必要ありません。まずは、多くの自閉症児が学校で学んでいるという事実を周知する意味で、最も効果的な啓発の形でもあると思います。世界自閉症啓発デーなど、世界的に自閉症のことを気づき理解してもらうことを推進していくのが世界的な潮流です。議連の先生方の大いなるご支援をお願いいたします。

情緒障害特別支援学級における実態調査(在籍児童生徒の状況)

1. 情緒学級(小学校): 知的障害の程度と障害種別数

小学校数	3443校	回収率							
在籍者数	10608人	58.80%							
知的障害の程度	全体	自閉症スペクトラム		LD・ADHD	心因性情緒障害		発達+心因性	知的障害	その他
		A	B	E・F	C・D	H			
		自閉症 傾向, PDD	高機能自閉症 アスペルガー症 候群	E:LD F:ADHD	C:かん黙 D:神経性 習癖	不登校			
a:標準	2197人	498(22.7%)	1024(46.6%)	362(16.5%)	28(1.3%)	44(2.0%)	50(2.3%)	0	191(8.7%)
b:軽度	3796	2088(55%)	577(15.2%)	502(13.2%)	56(1.5%)	27.7%	53(1.4%)	308(8.1%)	185(4.9%)
c:中度	2822	2224(78.8%)	0	0	39(1.4%)	8(0.3%)	36(1.3%)	452(16%)	63(2.2%)
d:重度	1289	1122(87%)	0	0	6(0.5%)	1(0.1%)	12(0.9%)	125(9.7%)	23(1.8%)
不明	187	113(60.4%)	29(15.5%)	14(7.5%)	2(1.1%)	1(0.5%)	3(1.6%)	17(9.1%)	8(4.3%)
合計1	10291	5547(53.9%)	2128(20.6%)	878(8.5%)	131(1.3%)	81(0.8%)	154(1.5%)	902(8.8%)	470(4.6%)
合計2	10291	7675(74.5%)		878(8.5%)	212(2.1%)		154(1.5%)	902(8.9%)	470(4.7%)

2. 情緒学級(中学校): 知的障害の程度と障害種別数

中学校数	1178校	回収率							
在籍者数	3248人	56.30%							
知的障害の程度	全体	自閉症スペクトラム		LD・ADHD	心因性情緒障害		発達+心因性	知的障害	その他
		A	B	E・F	C・D	H			
		自閉症 傾向, PDD	高機能自閉症 アスペルガー症 候群	E:LD F:ADHD	C:かん黙 D:神経性 習癖	不登校			
a:標準	806人	99(12.3%)	239(29.6%)	104(12.9%)	28(3.5%)	173(21.5%)	60(7.4%)	0	103(12.8%)
b:軽度	1337	609(45.6%)	172(12.9%)	177(13.2%)	31(2.3%)	82(6.1%)	60(4.5%)	141(10.5%)	65(4.9%)
c:中度	732	549(75.0%)	0	0	7(1.0%)	6(0.8%)	29(4.0%)	129(17.6%)	12(1.6%)
d:重度	248	209(84.3%)	0	0	2(0.08%)	1(0.04%)	7(0.3%)	26(10.5%)	3(1.2%)
不明	60	26(43.3%)	5(8.3%)	0	0	12(20.0%)	3(5.0%)	7(11.7%)	7(11.7%)
合計1	3183	1492(46.9%)	416(13.1%)	281(9.0%)	68(2.1%)	274(8.6%)	159(5.0%)	303(9.5%)	190(6.0%)
合計2	3183	1908(60.0%)		281(9.0%)	342(10.7%)		159(5.0%)	303(9.5%)	190(6.0%)

\*障害無記名者26人